



黒崎中央小だより

つなぐ

子どもと  
家庭と  
地域と  
学校と

令和元年6月27日  
北九州市立黒崎中央小学校  
文責 校長 高橋 英樹  
八幡西区藤田4丁目4-24

# 心を磨き、心をつなぐ

学期末が近づく中、季節外れのインフルエンザの流行で、5年生2学級で6月25日、26日の2日間、学級閉鎖を行うことになりました。今後とも子どもたちの健康を守るという点で、ご理解をお願いします。ご家庭でも予防に努めていただきますようお願いします。



さて、6月12日の学習参観では各学級の子どもたちの友達とかかわりながら学ぶ姿を多く見ていただいたことと思います。子どもたちが大人になるこれからの時代では、単純な正解のない問いを他の人と協同で解決していく力が求められます。本校でも、協同で問題解決するアクティブ・ラーニングという学びの姿を学校全体で創りだしていこうとしています。

また、一方で、人と人とのかかわりを大切にしていくために、高学年では宿泊体験活動などにも取り組みます。7月8日(月)9日(火)には、5年生の自然教室が行われます。共同生活を通して、『規律、友愛、協調、奉仕』の精神を身に付けていきたいと思っています。1泊2日の活動ではありますが、それまでの準備、事後の学習も含めて、子どもたちの心を磨き、心のつながりを一層強くしていきたいと思っています。

## 地域ぐるみで 子どもの安全を守る！

全国で、悲惨な交通事故のニュースが相次いでいます。そこで、学校やPTA、地域の声を受け、早速、区役所に動いていただき、西神原の交差点に**安全バーが8本設置**されました。朝の交通渋滞の時間帯では、歩道に乗り上げながら3号線の方に左折していく車もあり、大変危険でした。また、上野PTA会長さん、地域の黒瀬さん[上]、山崎建材の山崎さん、黒崎交番の警察官の方[下]などが、横断歩道で見守りを行ってくださっています。6月からはPTAの皆さんもご協力いただき、充実した見守り体制ができつつあります。子どもたちも「おはようございます。ありがとうございます。」と見守りの方にあいさつと感謝を言える子も増えています。



**※正門前の車の送迎は、歩道を歩いている子が危険です。渋滞の原因にもなります。警察からも繰り返し指導を受けています。他の安全な場所で車から降ろすようにしてください。**